

し尿処理施設精密機能検査業務委託 特記仕様書

□対象施設

名 称 : 月見センター
場 所 : 多治見市月見町 3 丁目 地内
処理方式 : 標準脱窒素処理方式（低希釈法）61k1/日
完成年月 : 平成 2 年

1 目的

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」施行規則第 5 条に基づき運転管理実績、機能状況、設備・装置の状況等に関する精密機能検査を行い、施設の適正な維持管理を図るとともに今後の施設運営の参考資料を得ることを目的とする。

2 業務概要

本業務は、「一般廃棄物処理施設精密機能検査実施要領（昭和 52 年 11 月 4 日、環整第 95 号、課長通知別紙 4）」により、以下に示す事項を基本に、施設現況を勘案して構成する。

(1) 施設の概要

施設の概要、処理工程等について調査する。

(2) 運転管理実績

運転管理に係る次の実績を調査し、検討・評価する。

- ア 搬入実績
- イ 運転実績（投入量、処理水量、汚泥処理量、薬品使用量、電力使用量等）
- ウ 維持管理費
- エ 主要な設備装置の整備経過
- オ 定期的に行っている水質試験等

(3) 維持管理状況

施設の維持管理状況を調査し、処理機能の安定や作業環境を向上するために改善すべき事項の有無を評価する。

- ア 管理状況（管理体制、有資格者等）
- イ 運転状況（各工程、各設備装置の評価）
- ウ 水質等分析状況
- エ 定期点検等の状況（設備装置の定期点検整備、各種法定点検・法定検査等の実施頻度）
- オ 書類の保存、記録状況

(4) 処理機能状況

各工程の処理水、汚泥等処理機能の把握に必要な試料を採取、分析するとともに、脱臭装置については検知管による現場測定（硫化水素及びアンモニア）を行い、処理工程ごとに機能状態を検討し、評価する。

(5) 設備装置状況

施設を構成する各水槽類及び各設備装置の外観検査等を行い、直近の整備記録等も参考として状態を評価する。なお、水槽内はマンホール等からの確認を基本とする。

(6) 総括及び改善点の考察

(1) ～ (5) の調査及び検査結果を総括し、施設の構造及び維持管理上の問題や課題がある場合には改善点として考察する。

(7) その他

- 1) 今後、月見センター廃止に合せて、下水処理場との共同処理化を検討しているため、そのことを踏まえ検討すること。
- 2) 打合せ時には業務打合せ録を作成し、指示事項等に食い違いのないように整理する。
- 3) その他、本仕様書に定める事項について、疑義が生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については発注者、受注者協議の上、これを定めるものとする。

3 環境への配慮

- (1) 本業務において発生した廃棄物については産廃処分・リサイクル等、発生品に応じて適正に処分すること。
- (2) 必要な消耗品等の購入については、パッケージなどの少ないもの、リサイクルの容易なものを優先する。
- (3) 文房具、その他消耗品についても再生品を優先利用するなど、グリーン購入に努めること。
- (4) 不必要なアイドリングはストップし環境に配慮すること。

4 妨害又は不当要求に対する通報義務

- (1) 受注者は契約の履行に当たり、暴力団又は暴力団員等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求を受けた場合又は契約の適正な履行を妨害された場合は警察に通報しなければならない。なお、これらの不当介入を受けたにも関わらず通報しない場合は指名停止措置を講じることがある。
- (2) 受注者は暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことに起因して履行期間内に契約内容を完了することができないときは、発注者に対して履行期間の延長を請求することができる。